

事前から高めた修学旅行



今年の修学旅行は取組から、取組後も「できた」がいっぱいありました。「挨拶＋一言」は取組初日以外は全てパーフェクト。男女の仲が確実に深まりました。修学旅行の中でも、楽しい会話や呼びかけなど活発に行い、旅行後の授業の中でも、今までよりも積極的に班員に関わる姿がありました。「時間を守る」取組でも、学年パーフェクトが3回ありました。研修中は、「駅の広さ・行き先の間違い・電車の遅延」など様々な理由で「そろいきる」ことは難しかったですが、みんなが一番楽しみにしていた「ディズニーランド」で全班が時間前に集まり切れました。学校生活で付けた力を確実に発揮することができました。

ただ、当然課題もありました。それは「基準が自分優先」だということ。自分を優先させ班がバラバラになったり、ホテルでうるさくしてしまったりする姿など…。学校生活も同じではないでしょうか。着席・掃除・班交流、自分を優先させることでトラブルが生まれています。

来年、社会に出て行くことを考えても、基準を自分たちにしていくことが大事です。29日には、そうなる一歩を踏み出し始めました。C組では、欠席が多い中、自分たちで役割分担をして行動していました。B組では、学習委員が「オール6だけどもまだ声が出ていない人がいる」と語っていました。A組では、オール6をとろうと大きな声で反応していました。

どの姿も、先生が声をかけてやっている姿ではありません。こうやって自分たちで「向上」していこうとするリーダーや係の意思が「基準を自分たち」に変えていきます。これらはまだ学級の一部の動きでしかありません。次は、これをどう学級全体・学年全体の行動に移していくかが大事です。行動に移した分だけ学級・学年は向上し、修学旅行は「大成功」に近づきます。

保護者の皆様へ

修学旅行の送迎ありがとうございました。それぞれが楽しかった思い出を話してくれたことと思います。今後は、いよいよ進路選択が迫ってきます。まずは、6月の進路説明会。高校の先生に来ていただいて各学校の特色を確認します。ぜひ、ご参加をお願いします。